

達成度：H23.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

社会教育課の目標（平成22年度）自己評価書

社会教育課長 濱野 敏幸

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 生涯学習の推進（社会教育班）</p> <p>近年の社会環境、生活環境の急速な変化に対応するためには、自ら学習を継続させる必要があり、いつでも個人が必要とする学習機会の提供に努めます。また、生涯学習推進のため家庭、学校、地域、各種団体、行政が連携して各種事業に取り組みを行います。</p> <p>（1）生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順天堂大学生涯学習公開講座を4回実施 ・生涯学習フェスティバル開催に伴う実行委員会への支援 ・生涯学習計画の見直し（平成21年度から5か年間の計画期間） 	3	<p>1 生涯学習の推進（社会教育班）</p> <p>（1）生涯学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印西市と共同で全4回の公開講座を開催し、親子63名の参加がありました。親子でスポーツを行うことにより、身体の健康は勿論であるが、親子のコミュニケーションが図れ、家庭教育の面からも心の健康が築られました。 ・生涯学習フェスティバル開催に伴う実行委員会への支援を行い、町民の芸術文化に対する関心を高め、より多くの町民が日頃の学習活動の成果を発表する場の提供に協力しました。 ・生涯学習計画については、第2期生涯学習推進計画（平成14年度から平成18年度まで）以降の計画が策定されていませんが、生涯学習の推進事業については生涯学習推進計画（案）（平成19年度から平成23年度）により実施しています。現在、第5次町総合計画が策定中であり、その計画と整合性を計るため、平成22年は生涯学習推進計画を策定せず、平成23年度に見直し作業を行います。

<p>(2) 家庭教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の家庭教育学級の運営（ローズマリー学級7回・なずな学級7回） ・学校の家庭教育学級への支援（酒々井小学校・大室台小学校・酒々井中学校） ・家庭教育相談員による週2回（木・金）の家庭教育相談の対応 ・家庭教育学級生を対象に健康福祉課と共催して食育講習会を4回実施 <p>(3) 青少年健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会事業への支援（球技大会・映画会・体験教室） ・青少年相談員事業への支援（屋外映画会共催・スポレク祭綱引き大会・たこ作り教室・たこあげ大会・防犯パトロール） 	<p>4</p> <p>4</p>	<p>(2) 家庭教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の家庭教育学級の運営を行いました。（ローズマリー学級、8回延べ95名・なずな学級、8回延べ65名） ・学校の家庭教育学級への支援を行いました。（酒々井小学校、8回延べ71名・大室台小学校、8回延べ185名・酒々井中学校、6回延べ83名） <p>様々な体験や活動をとおして、家庭における教育力の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週2回家庭教育相談員を配置し、相談体制を整えました。また、家庭教育学級の学級生に対し適切に相談・指導することができました。 ・「いつもの食材でいつもと違う食卓」と題して、メルキュールホテル成田・総料理長、ホテル日航成田・ヘッドシェフを招いて調理実習と「家庭における食育」と題して、食育インストラクターの講演を4回開催しました。 <p>（参加人数 ①28名、②18名、③25名、④23名）</p> <p>(3) 青少年健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会事業への支援を行い、球技大会9子ども会211名、ふれあい映画会10子ども会173名の参加がありました。各行事をとおして子どもたちの多様な体験活動の機会の充実を図り、思いやりの心や社会性、自ら考え行動できる力などを培っていくなど重要な役割を果たしました。なお、体験教室12子ども会183名の申し込みがありましたが、台風のため中止になりました。 ・青少年相談員事業への支援を行いました。（ニュースポーツ教室22名参加・映画会260名参加・たこ作り教室たこあげ大会80名参加・防犯パトロール4回実施）
---	-------------------	--

<p>(4) 成人教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式（1月9日開催予定）の開催と実行委員会への支援（実行委員主催の成人式の実施） <p>(5) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育セミナーの開催（年6回開催、各種団体と共催）及び動員人数の増加 ・人権教育の啓発活動（ビデオなどの貸し出し） <p>(6) 社会教育団体等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA・婦人会・ユネスコ・文化協会・ボーイスカウトガールスカウト ・B-Net子どもセンター 	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>各種事業や防犯パトロールをとおして、青少年の健全育成と非行防止を図りました。</p> <p>(4) 成人教育</p> <p>・成人になったことを自覚し、社会連帯と自立の精神のもと、未来をたくましく生き抜こうとする青年の門出を祝い励ますため、成人式の開催と実行委員会への支援を行いました。実行委員会が主催となり式を進行し、新成人131名の参加がありました。</p> <p>(5) 人権教育</p> <p>・人権教育セミナーを6回開催し延べ818名の参加者がありました。また、人権教育の啓発活動としてビデオなどの貸し出しを行いました。あらゆる人権問題の解消に目指し、人権に対する理解を求め、人権意識の向上を図りました。</p> <p>(6) 社会教育団体等への支援</p> <p>・PTA、婦人会、ユネスコ、文化協会、ボーイスカウト、ガールスカウト、B-Net子どもセンターへ支援を行い、各団体の活動を助成しました。</p>
<p>2 史跡本佐倉城跡調査整備事業（文化財班）</p> <p>国史跡本佐倉城跡の活用に向けて保存整備事業の充実を図り、本佐倉城跡の周知、普及に努めます。</p> <p>(1) 整備基本設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から予定する本格的な復元整備に向けて、計画・工程を見直しつつ、さらに具体的な基本設計書としてまとめる作業を、平成22年度より2ヵ年をかけて実施します。 ・基本設計の作成にあたり、有識者で組織する調査整備委員会を開催し、その内容 	<p>5</p>	<p>2 史跡本佐倉城跡調査整備事業（文化財班）</p> <p>(1) 整備基本設計</p> <p>・平成22年度の基本設計業務では、確認調査として計画地周辺における交通及び主要施設の状況や計画地へのアクセス、都市計画や開発計画の状況、現地踏査による現在の導線、景観、植生等についての把握を行いました。また、</p>

<p>検討や方向付けを行います。</p> <p>(2) 現地見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本佐倉城跡の周知を図るため、現地見学会を「酒々井ふるさとガイドの会」、「佐倉市」と共同で行います。 <p>(3) 周知・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、本庁舎玄関において本佐倉城跡や周辺関連遺跡のパネル、出土遺物の展示を行います。 ・見学者がより理解を深めるための資料となる『本佐倉城跡 散策マップ』を残部数がわずかになったため増刷（5,000部）を行います。 <p>3 史跡ウォーキング（文化財班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史のまち酒々井」をアピールするため、町内に数多く所在する寺社、史跡、名所、旧跡等の貴重な文化財をめぐるウォーキング事業を各種団体と協働で実施し、町内外へ向けて周知するとともに、文化財保護思想の普及を図ります。 <p><予定> 10月24日（日）</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>これらの与条件に対しての課題整理を行い、解決するための方向性を検討し、整備の基本的方針を設定しました。さらに、委員会の討議内容を踏まえ、予条件や基本的方針に基づき本史跡に導入すべき施設についての検討を行い、中間報告書として取り纏めました。</p> <p>(2) 現地見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒々井町と佐倉市の共催で、3月5日に「酒々井ふるさとガイドの会」、「NPO法人まちづくり支援ネットワーク佐倉」のボランティアガイドの協力により、「本佐倉現地見学会」を行いました。当日は222人の参加があり、周辺の関連史跡を含め、本佐倉城跡の周知とこれまでの整備事業の成果を公表することができました。 <p>(3) 周知・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館ロビー（周辺関連遺跡の出土遺物に展示替え）役場本庁舎玄関にて展示を実施し、来庁者への周知が得られました。 <p>また残部数がわずかになった『本佐倉城跡散策マップ』を文化財の周知・普及資料として配布を行うため、内容を一部更新して増刷（5,000部）を行いました。</p> <p>3 史跡ウォーキング（文化財班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月24日に本佐倉城跡を中心に周辺関連史跡を解説付団体歩行でめぐる（引率・解説は酒々井ふるさとガイド及び郷土研究会）ウォーキングを実施しました。開催にあたっては各種団体と協力し、地域住民による「おもてな
---	----------------------------	---

<p>4 景観資源基本調査の実施（緊急雇用創出事業・文化財班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急雇用創出事業を活用し、町内の景観資源基本調査の他、町内出土考古資料の整理、展示替え、ホームページの更新作業を2ヵ年をかけて行います。 <p>5 スポーツ・レクリエーションの推進（社会体育班）</p> <p>町民のニーズにあったスポーツ・レクリエーションを展開するとともに、健康づくりや仲間づくりの場を提供し、健康増進・体力の維持向上を図ります。</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション祭（10月17日開催予定）</p> <p>各種体育団体等が中心となり、実行委員会を組織し企画・運営を行います。事前に生涯スポーツ教室を行い、参加しやすい体制づくりをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施種目 綱引き、コーディネーショントレーニング、バドポン、ソフトバレーボール、体力測定、グラウンドゴルフ、ディスクゴルフ、食育コーナー、昔の遊びコーナー <p>(2) 生涯スポーツの推進</p> <p>体育指導委員が中心となり、誰でも気軽に取り組める軽スポーツの普及を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業 ウォークラリー大会、軽スポーツ大会・教室など 	<p>し」も行われました。114名の参加を得、本佐倉城跡の周知や「歴史のまち酒々井」としてのアピールが行えました。</p> <p>3 4 景観資源基本調査の実施（緊急雇用創出事業・文化財班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の景観資源基本調査は、緊急雇用創出事業を活用し、専属の文化財調査員1名、調査補助員2名を雇用して本佐倉城関連の他、これまで発掘された町内出土考古資料や古文書等の資料整理を行いました。また、江戸時代の寺子屋「青樹堂」の速報企画展示を3月23日から中央公民館ホールにて実施しました。 <p>5 スポーツ・レクリエーションの推進（社会体育班）</p> <p>3</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション祭（10月17日開催）</p> <p>実行委員会を組織し、企画・運営を行い10種目に482名の参加者を、体力づくりや仲間づくりの場を提供しました。</p> <p>4</p> <p>(2) 生涯スポーツの推進</p> <p>体育指導委員が、企画・運営を行い、気軽に取り組める軽スポーツの普及を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業 ウォークラリー大会（5月：90名） 軽スポーツ大会・教室（3月：震災により中
---	---

<p>(3) 健康と体力づくりの推進 健康づくり推進員が中心となり、ウォーキングを主体とした事業を年4回実施し、健康づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業 町内ウォーキング、砂浜ウォーキング、ハイキングなど <p>(4) 競技スポーツの向上 体育協会が中心となり、各種スポーツ大会を開催し競技力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業 印旛郡市民大会の開催及び選手派遣、各競技団体による町民大会など <p>(5) 体育施設の有効活用 既存体育施設を効率的かつ有効に活用しながら、スポーツ・レクリエーションに親しむ場の提供を行います。</p> <p>また、町体育館については、検討委員会を設置し今後の方針を検討します。</p> <p>6. チャレンジ目標</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>止)</p> <p>(3) 健康と体力づくりの推進 健康体力づくり推進員が、企画・運営を行い、体力づくりや仲間づくりの場を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業 歩こう会 (4月：72名) いすみなぎさウォーキング (5月：72名) オータムハイキング (11月：83名) スプリングハイキング (3月：震災により中止) <p>(4) 競技スポーツの向上 体育協会専門部が、企画・運営を行い、各種スポーツ大会を開催し競技力の向上を図りました。</p> <p>各種大会に延べ2,058名の参加があり、印旛郡市民体育大会に15競技に245名の選手団を派遣し、町の部で優勝することができました。</p> <p>(5) 体育施設の有効活用 社会体育施設、学校体育施設の既存施設を効率的に活用し、スポーツ・レクリエーションに親しむ場を提供しました。(利用登録団体：65団体 1,318名)</p> <p>また、町体育館の今後の方向性を検討するための、検討委員会を2回開催し、平成23年度中に提言をいただくこととしました。</p> <p>6. チャレンジ目標</p>
---	----------------------------	---

<p>(1) ゆめ半島千葉国体デモンストレーションとしてのスポーツ行事</p> <p>平成22年度に開催される、ゆめ半島千葉国体の成功を目指し関係団体で構成する実行委員会及び競技運営委員会で円滑な運営を図ります。</p>	<p>5</p>	<p>(1) ゆめ半島千葉国体デモンストレーションとしてのスポーツ行事</p> <p>国体の運営を円滑に実施するため、実行委員会3回・競技運営委員会5回・プレ大会(300名参加)を開催し、県内から303名の参加者を迎え盛大に開催することができました。</p> <p>また、大会を盛り上げるため、各種団体の協力により花いっぱい運動・炬火・採火事業も併せて実施しました。</p>
--	----------	---